

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		スーパー（店長）	・今年は天候に恵まれ、春の訪れも早そうなので売上の増加が期待できる。
		衣料品専門店（経営者）	・3月上旬にかけて売上が落ち込む時期ではあるが、客単価が上昇していることに加え、客の商品を見る目が今までと比べて変化しており、消費者心理が明るくなったように感じる。
		家電量販店（店長）	・デジタル関連商品の動きが、今後も底堅く推移する。
		一般レストラン（経営者）	・BSEや鳥インフルエンザなどマイナス要因はあるが、他の素材や季節、健康などを意識した様々なメニューを提供することにより、客を引き寄せられる。
		観光型旅館（経営者）	・都市部での景気回復が地方に波及してくることに加え、当地では「町並博」というイベントが控えており、やや良くなる。
		旅行代理店（従業員）	・春の行楽シーズンを迎える時期でもあり、鳥インフルエンザがまん延しなければ、昨年のSARS等で旅行を取りやめた人が今年は旅行に出掛ける。
		観光名所（経営者）	・昨年は統一地方選挙で観光客の動きが鈍かったが、今年は通常の動きに戻る。
	ゴルフ場（従業員）	・予約の問い合わせや実際の予約状況も増加している。	
	住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税の延長により、年内に入居を希望している客の商談が3月、4月にかけてまとまる。	
	変わらない	商店街（代表者）	・昨年暮れの空き店舗調査で、空き店舗率が更に1ポイント上昇している。こうした状況下では、景気が良くなるとは考えられない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・市場の競り単価がかなり下落しているため、同業者も売上が減少している。同様にスーパーや大規模店の販売単価もかなり下落しており、これから春にかけて需要の時期を迎えるが、一度下がった単価は回復しにくく、売上が増加する可能性は少ない。
		百貨店（売場主任）	・販売量に変化はないが、客単価が若干上昇している。このように少し明るい兆しはあるが、全体の動向は変わらない。
		百貨店（総務担当）	・ギフトを中心にどうしても必要な商品は売れているが、自分自身の必要品の購入に対する非常にシビアな購買行動に変化はみられない。このため春物の販売も苦戦している。
		百貨店（営業担当）	・クリアランスは好調であったが、買上点数が少なく、1人当たりの売上額は増加していない。ブランド商品群は、全体では前年並みを維持しているが、ブランドによりばらつきがある。
		スーパー（企画担当）	・BSEや鳥インフルエンザ問題により、消費者は食品の安全性に敏感になっている。安心・安全が確保できないと、落ち込んだ生鮮食品の回復は難しい。
		スーパー（財務担当）	・BSEや鳥インフルエンザなど食品の安全に関する問題が多く発生しており、食品スーパーとしては先行き不安である。
		スーパー（店長）	・消費税が総額表示に統一されるが、消費者には価格上昇のように感じられ、売行きが悪くなる恐れがある。
		コンビニ（店長）	・前年から客数、単価ともにやや下落しており、販売量が落ち込んでいる。単価の安い即席ラーメンやパンは多少伸びているが、こうした下落傾向は続くとしている。
衣料品専門店（経営者）		・既存店の来客数、客単価ともに上昇せず、売上は前年割れが続いており、回復する兆しがみえない。	
家電量販店（営業担当）		・来客数は多少増加してきたが、固定客に比べ新規客の割合が少ないことから、需要の拡大は難しい。また購買意欲の目安となる小物商品にも変化が少ない。	
乗用車販売店（従業員）	・新型車、モデルチェンジの発売の予定がなく、売上を増加させる材料が見当たらない。		
都市型ホテル（経営者）	・予約状況は、ほとんど変化がない。一般的に景気が回復したと言われているが、実感がない。		
やや悪くなる	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・規制緩和で新規の酒販免許がどんどん発行されており、次第にその影響が出てくる。このまま、何も対策を打たなければ、販売量は落ち込んでいく。	

		一般小売店〔乾物〕 (店員)	・新聞等で景気が回復していると言われているが、全く実感が ない。一部の輸出企業は業績が良いようであるが、末端ま でその影響を及ぼしているとは思えない。
		乗用車販売店(営業担 当)	・1月の販売台数は前年を上回ったが、これは商品力による ものであり、景気が回復したことによるものではない。 ・来客数は、前年を下回って推移している。
	悪くなる		
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	電気機械器具製造業 (経営者)	・最近では珍しく、1年分の受注を受けたが、1社だけでな く複数の会社からの発注であり、また受注部門も2部門に及 んでいる。
		不動産業(経営者)	・第二次ベビーブーマーの賃貸契約、分譲マンションの購入 が増加している。今後、こうした動きが更に強まるとわれ る。
		広告代理店(経営者)	・JR駅前のシンボルタワーのオープンイベントや周辺施設 で開催されるイベント効果により、やや良くなる。
変わらない		一般機械器具製造業 (経理担当)	・大・中型クレーンの稼働率は高いものの、リース料金は下 落傾向にあり、機械の老朽化によるやむを得ない台替需要の 域は出ていない。一方、小型クレーンの排ガス規制による特 需は、首都圏では一段落した感があるが、中部・関西地区へ 広がりをみせており、この傾向はまだ続く。
		一般機械器具製造業 (経理担当)	・2000年6月の循環型社会形成推進基本法の公布から約4 年が経過し、業者の淘汰も進み、景気を回復させるほどの動 きではないが、ユーザーの動きもやや活発になりつつある。
		輸送業(支店長)	・ディーゼル車の排ガス規制による車両台替で資金繰りを圧 迫され、中小規模の業者が廃業した。このように大、中小の 企業間格差はますます広がると思われるが、当面、景況感に 変わりはない。
		金融業(融資担当)	・各企業とも、減収傾向に歯止めがかかっていない。リストラ を進めているが、限界に近づきつつある。
	やや悪くなる		
	悪くなる	食料品製造業(従業 員)	・BSE、鳥インフルエンザの問題が早く解決され、輸入解 禁にならないと、どうすることもできない状態になってい る。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社(支店 長)	・リストラの一段落から新規採用が増えており、先行きは少 し明るい。
		民間職業紹介機関(所 長)	・中堅企業の新規求人件数に増加が見込まれる。
	変わらない		職業安定所(職員)
		職業安定所(職員)	・新規求職者は2か月連続で減少したが、有効求職者は前年 比増が継続しており、求職活動期間が長期化する傾向にあ る。求人内容も、派遣や請負の求人、期限付きの求人が増加 しており、雇用面での厳しさは続いている。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-